「今さら聞けない」「ちょっと気になる」…
食についての基本のキを、毎月1回紹介します。

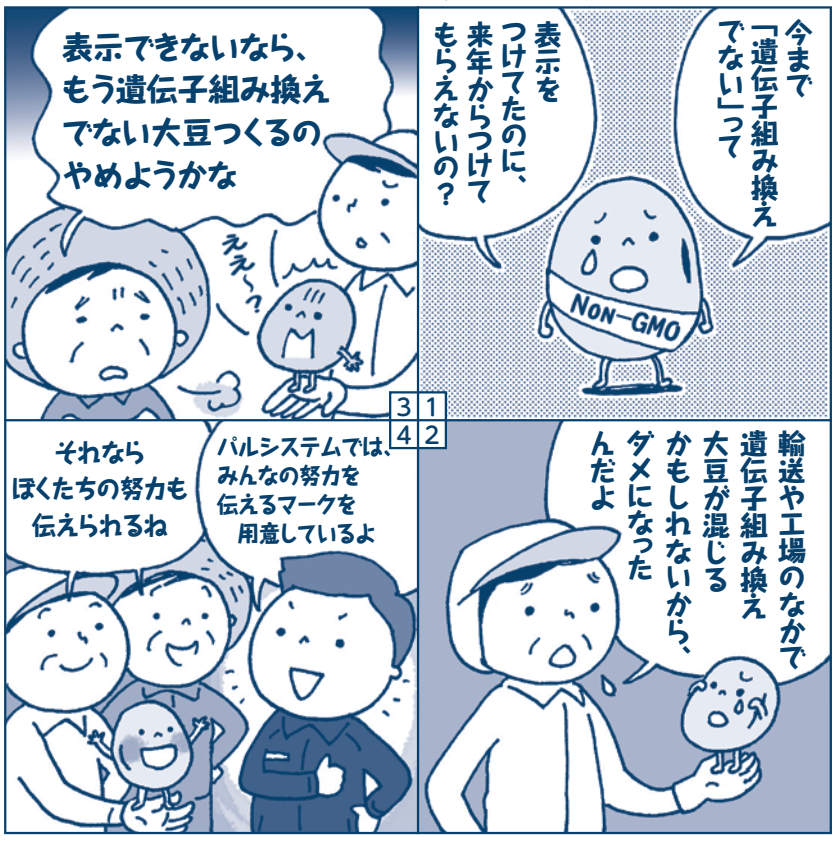
食べものナビゲーター

FOOD NAVIGATER

12月

vol.138 2022年11月14日発行

遺伝子組み換え表示が変わる!



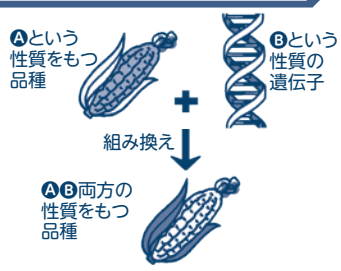
「食べものナビゲーター」はパルシステム東京のホームページでも公開

来年4月、「遺伝子組換え表示制度」が改正されます。
どのように変わるのかチェックして、商品選びに活かしましょう!

遺伝子組み換えとは

生物から遺伝子を取り出し、他の生物などに組み込む技術を遺伝子組み換え=GM(※)といいます。特定の除草剤をかけても枯れない(除草剤耐性)など、特定の機能を作物にもたせるために使われています。

※Genetically Modified(遺伝子組み換え)の略称。
GMO=遺伝子組み換え作物



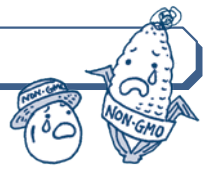
しかし、次の理由から問題点が指摘されています。

安全性
安全性評価は有害物質の有無やアレルギーの検査など、簡易的な審査だけ。

生態系への影響
GM作物の花粉が飛散し、在来種と交雑するなど、生態系にも影響が。

大企業による種子の独占
GM種子と除草剤がセット販売され、農家は毎年、割高なセットを購入することに。

遺伝子組み換え表示、どう変わるの?



2023年4月から「遺伝子組換え表示制度」が変わります。これまでは収穫や輸送中などにGM作物が意図せずに混ざってしまう可能性があるため、混入割合が5%以下であれば「遺伝子組み換えでない」と表示できました。しかし、今後は「混入がいっさいない」と証明されないと表示ができなくなります。

現在の任意表示制度
遺伝子組み換えでない
遺伝子組み換え作物が意図せずに混ざる割合が5%以下であること

2023年4月からの任意表示制度
遺伝子組み換えでない
遺伝子組み換え作物がいっさい混ざっていないと証明できること

新たな任意表示(分別管理など)
分別管理をしっかり行い、遺伝子組み換え作物の混ざる割合が5%以下

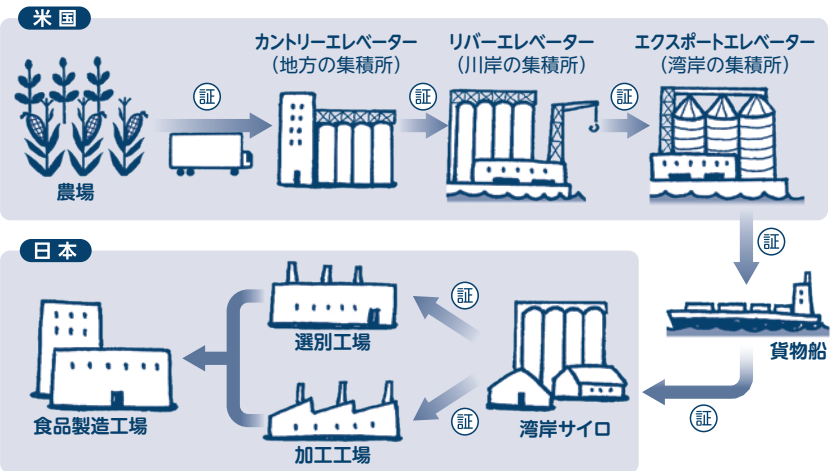
※大豆、トウモロコシが対象。他の作物は混ざらないことが条件

これまで表示ができていた商品の多くで「遺伝子組み換えでない」表示ができなくなる

「遺伝子組み換えでない」と表示するには?

大豆・トウモロコシは9割以上が輸入です。非遺伝子組み換え原料を産地から調達しても、「遺伝子組み換えでない」と表示するにはすべての工程で証明が必要になります。

米国からの輸入の場合



証:IPハンドリング(分別生産流通管理)証明書
非遺伝子組み換え作物(以下、Non-GMO)を農場から製造生産業者までの各段階で混入が起きないように管理し、それが書類により証明されていること

新しい表示制度どこが問題?

表示制度の改正により、Non-GMOにこだわってきた製造者もやむをえず表示をあきらめ、結果としてNon-GMO商品の多くが消えてしまう可能性があるのです。

すべての証明書をとるのは難しいから、もうNon-GMOの原料を使うのはやめるしかないかな

がんばってNon-GMOの大豆を作ってきたけど、表示できないならもう作っても意味がないからやめよう

パルシステムの商品づくりのこだわりは変わりません

パルシステムでは、Non-GMOにこだわってきた製造者が、今後も「非遺伝子組み換え」の商品づくりに取り組めるよう、作り手の努力を伝え、応援できるような新たなマークを導入します。2023年4月から新しくなるカタログのマークは、今後の「食べものナビゲーター」でもお知らせしていきます。

また、パッケージの原材料欄は右図のように、順次切り替え中です。表示が変わる商品もありますが、原材料や製造方法などは今までどおりです。私たち消費者が利用することで、Non-GMOに取り組む製造者を応援していきましょう!

パッケージの原材料名欄の変更例

原材料名:大豆(遺伝子組み換えでない)

↓

原材料名:大豆(国産)
大豆(遺伝子組み換えの混入を防ぐため分別)

遺伝子組み換え作物が混ざっていないと証明された場合

原材料名:大豆(遺伝子組み換えでない)

Information

オンライン開催

「遺伝子組み換えでない」表示がなくなる?!
〜Non-GMOに取り組む産地からの声〜

遺伝子組み換えってなに? 表示はどんなふうに変わるの?…そんな疑問にお答えします。

日時 12月3日(土) 10:00〜12:05
会場 オンライン(Zoom) 参加費 無料
講師 八田 純人氏(農民連食品分析センター 所長)
八幡 則子(パルシステム連合会)

Non-GMOに取り組む商品
圧搾一番しぼり菜種油(平田産業)
いわて奥中山高原の低温殺菌牛乳(奥中山高原農協乳業)

詳しくは2次元コードからご覧ください

食べものナビゲーター(食ナビ)では、ご感想、商品に関するご意見・ご質問をお待ちしております。shoku-navi@pal.or.jpまで。

Think from Kitchen

キッチンから考える？

Vol. 78

発行／2022年11月14日

今月のテーマ

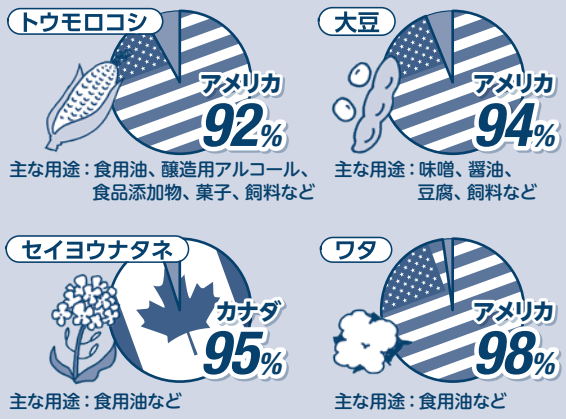
遺伝子組み換えにNO！の商品

世界中にあふれる遺伝子組み換え食品は、気づかぬうちに私たちの食卓にもあふれています。
「遺伝子組み換えにNO！」に取り組むパルシステムの商品を紹介します。

Q 非遺伝子組み換え（Non-GM）の原料はどうして手に入りにくいの？

A 加工食品の原料や飼料になる、トウモロコシや大豆などの生産国では、ほとんどが遺伝子組み換えで栽培されています。食料の６割以上を海外に依存する日本では、それらに頼らざるをえません。Non-GMOはもともと生産量が少ないうえ、ウクライナ侵攻や異常気象による生産国の不作に円安も加わり、価格はさらに高騰しています。

日本の最大輸入国のGM栽培割合（令和元年）



「我が国への作物別主要輸出国と最大輸出国における栽培状況の推移」（農林水産省）を元にパルシステム東京で作成

Q 日本ではGM作物は栽培されていないし表示を確かめてNon-GMOの商品を選べば問題ないんじゃない？

A 確かに日本では、食用・飼料用のGM作物は商業栽培されていません。しかし、トウモロコシや大豆、ナタネ、ジャガイモなど９種類の流通は認められ、さまざまな加工食品の原料に使用されています。
遺伝子組み換えの表示をしなくてもよい食品（左図）も多いうえ、新表示制度の導入で「遺伝子組み換えではない」という表示はしにくくなります。消費者は気づかないうちに、ますます多くのGM食品を食べることになりかねません。

表示対象外の食品（例）

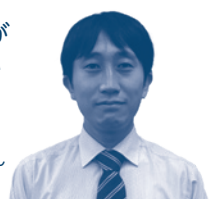
圧搾一番しぼり菜種油

Non-GMO表示を継続

オーストラリア・カンガルー島のNon-GMナタネが原料の菜種油（キャノーラ油）です。カンガルー島の専用施設からコンテナに積み込み、九州の工場到着まで開封しないため、GM原料の混入はありえません。工場内でもGMOの取り扱いはなく、今後もNon-GMO表示を継続できる見通しです。

ウクライナ侵攻や異常気象などの影響で、ナタネも品不足が続いています。価格は昨年の２倍以上で、いま一般のナタネは取り合い状態です。しかし、カンガルー島とは産直協定を結ぶなど長年の交流で、安定した供給ができています。

組合員さんの変わらぬ買い支えがあったからこその成果です。これからも応援をお願いいたします。



中村 竜也さん
平田産業

いわて奥中山高原の低温殺菌牛乳

自前の飼料づくりで自給率アップ

岩手県奥中山高原の産地では、５軒の酪農家がパルシステムの低温殺菌牛乳向けの生乳を生産しています。飼料の約７割を占める粗飼料のデントコーンと牧草は、酪農家の自家生産です。牛を育てるには多くの粗飼料が必要で、乳牛を育てるために、東京ドーム約４個分の耕地を作付けしている酪農家もいるほどです。

今回の飼料高騰で、輸入飼料に頼る危うさは誰もが認めるところです。酪農をしながらの粗飼料生産は、本当にたいへんな労力が必要です。奥中山高原では酪農家が共同で農業機械を購入したり、手が足りない農家を手伝ったりしながら、協力して飼料の自給率を高める取り組みを続けています。

五十嵐 万晴さん
奥中山高原農協乳業

豆　腐

すべて国産大豆を使用

現在、中国などでの需要増やウクライナ侵攻の影響で輸入大豆の価格が上昇。相対的に国産大豆の需要が高まっています。さらに円安の影響で、包装資材などあらゆるモノの価格が高騰。今こそ、これまで培ってきた「産直」がより一層大切になっています。ぜひ、パルシステムの豆腐を食べて、大豆や豆腐づくりの生産者を応援してください。

また、これからは国産大豆使用の豆腐などでも、GM原料混入ゼロを示す証明書が必要になります。Non-GMOをすすめる努力をアピールしにくくなるのは、作り手にも消費者にも残念なことと思います。

芦澤 祐亮さん
パルシステム連合会日配課

食ナビ ぷらす PLUS

●食の安全学習会「未来につながるチャレンジ ～海の豊かさを守ろう! 江戸前あさり～」を開催

千葉県漁連の宮地さん、岩渕さんを講師に招き、「江戸前あさり」を通して、海の環境を守りながら、持続的な水産資源のあり方を学ぶ学習会を開催し、40名が参加しました（9月10日）。食育リーダーによる「江戸前あさり」を使ったレシピも紹介するなど、楽しく学べる学習会となりました。

アーカイブ動画はコチラから ➡

Information

映画『給食からの革命』上映会&講演会

『給食からの革命』は学校給食が有機に変わることで、社会が変わる可能性を探る映画。上映後、学校給食や有機農業についての講演会を開催。

日　時：2022年11月29日（火）
映　画：10:00～13:00、15:00～17:00のお好きな時間に視聴（70分／日本語字幕）
講　演：13:30～15:00　参加料：500円
申込み：2次元コードか GMOフリーゾーン　給食からの革命 検索
主　催：第17回GMOフリーゾーン運動全国交流会 in 東京 実行委員会
（事務局　遺伝子組み換え食品いらない!キャンペーン　office@gmo-iranai.org）